

商品名 シュンレンカ錠300mg 医薬品基本情報

薬効	6250 抗ウイルス剤	一般名	レナカパビルナトリウム錠
英名	Sunlenca	剤型	錠
薬価	94814.20	規格	300mg 1錠
メーカー	ギリアド・サイエンシズ	毒劇区分	

シュンレンカ錠300mgの効能・効果

多剤耐性HIV-1感染症

シュンレンカ錠300mgの使用制限等

- 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、フェニトイン・フェノバルビタール投与中、リファンピシン投与中、ミトタン投与中、カルバマゼピン投与中、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩投与中、セイヨウオトギリソウ<セント・ジョーンズ・ワート>含有食品摂取中、フェニトイン投与中、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン投与中、ホスフェニトインナトリウム水和物投与中、ロミタピドメシル酸塩投与中、エンザルタミド投与中、アパルタミド投与中
- 末期腎不全、クレアチニンクリアランス15mL/min未満、重度肝機能障害、Child-Pugh分類C

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

シュンレンカ錠300mgの副作用等

- 悪心
- 免疫再構築炎症反応症候群、日和見感染に対する炎症反応、自己免疫疾患、甲状腺機能亢進症、多発性筋炎、ギラン・バレー症候群、ブドウ膜炎

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満
記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

シュンレンカ錠300mgの相互作用

- 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の強いCYP3A、P-gp又はUGT1A1の誘導作用	指示	禁止

2. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の強いCYP3A、P-gp又はUGT1A1の誘導作用	指示	禁止

3. 薬剤名等：フェニトイン・フェノバルビタール

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の強いCYP3A、P-gp又はUGT1A1の誘導作用	指示	禁止

4. 薬剤名等：ホスフェニトインナトリウム水和物

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の強いCYP3A、P-gp又はUGT1A1の誘導作用	指示	禁止

5. 薬剤名等：カルバマゼピン

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の強いCYP3A、P-gp又はUGT1A1の誘導作用	指示	禁止

6. 薬剤名等：アパルタミド

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の強いCYP3A、P-gp又はUGT1A1の誘導作用	指示	禁止

7. 薬剤名等：エンザルタミド

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の強いCYP3A、P-gp又はUGT1A1の誘導作用	指示	禁止

8. 薬剤名等：ミトタン

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の強いCYP3A、P-gp又はUGT1A1の誘導作用	指示	禁止

9. 薬剤名等：セイヨウオトギリソウ含有食品

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	セント・ジョーンズ・ワートの強いCYP3A、P-gp及びUGT1A1の誘導作用	指示	禁止

10. 薬剤名等：ロミタピドメシル酸塩

発現事象	血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのCYP3A阻害作用	指示	禁止

11. 薬剤名等：メチルエルゴメトリンマレイン酸塩

発現事象	血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのCYP3A阻害作用	指示	禁止

12. 薬剤名等：エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン

発現事象	血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのCYP3A阻害作用	指示	禁止

13. 薬剤名等：ジゴキシン

発現事象	血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのP-gp阻害作用	指示	注意

14. 薬剤名等：直接経口抗凝固薬

発現事象	血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのCYP3A又はP-gp阻害作用	指示	注意

15. 薬剤名等：シンバスタチン

発現事象	血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのCYP3A阻害作用	指示	注意

16. 薬剤名等：コルチコステロイド

発現事象	曝露量が著しく上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのCYP3A阻害作用により、コルチコステロイドの曝露量が著しく上昇し、クッシング症候群及び副腎抑制のリスクが増加	指示	注意

17. 薬剤名等：ミダゾラム

発現事象	血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのCYP3A阻害作用	指示	注意

18. 薬剤名等：トリアゾラム

発現事象	血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのCYP3A阻害作用	指示	注意

19. 薬剤名等：キニジン

発現事象	血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのCYP3A阻害作用	指示	注意

20. 薬剤名等：ホスホジエステラーゼ5阻害薬

発現事象	血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	レナカパビルのCYP3A阻害作用	指示	注意

21. 薬剤名等：アタザナビル

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	アタザナビル／リトナビルの強いCYP3A、P-gp及びUGT1A1阻害作用	指示	注意

22. 薬剤名等：リトナビル

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	アタザナビル／リトナビルの強いCYP3A、P-gp及びUGT1A1阻害作用	指示	注意

23. 薬剤名等：エファビレンツ

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	エファビレンツのCYP3A、P-gp及びUGT1A1誘導作用	指示	注意

24. 薬剤名等：リファブチン

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の中程度のCYP3A、P-gp又はUGT1A1誘導作用	指示	注意

25. 薬剤名等：フェノバルビタール

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の中程度のCYP3A、P-gp又はUGT1A1誘導作用	指示	注意

26. 薬剤名等：ネビラピン

発現事象	レナカパビルの血漿中濃度が低下、本剤の効果が減弱し本剤に対する耐性が発現	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤の中程度のCYP3A、P-gp又はUGT1A1誘導作用	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』